



滋賀県立大学 開学30周年
滋賀県立短期大学 開学75周年

2026 vol.9

「湖風会設立20周年記念号」

滋賀県立大学同窓会「湖風会」

湖風会報



歩みは続く。短大から県大へ。
そして湖風会の20年。

LINE 登録



必ずご登録ください — 湖風会公式 LINE

滋賀県立大学同窓会「湖風会」では、大学・同窓会の最新情報を公式 LINE にて発信しています。会員の皆さまには、必ずご登録をお願いいたします。(湖風会設立 20 周年事業の情報も随時配信予定)



湖風会 5 代目会長
小林 匡哉

初の県大卒会長、誕生。湖風会第 5 代会長就任のご挨拶

皆さん、こんにちは。湖風会 5 代目会長となりました、平成 17 年環境生態学科卒業の小林匡哉と申します。

湖風会の目的は「会員相互の親睦を図ること」と「母校の発展に寄与すること」の大きく 2 つ。是非、湖風会のホームページを見ていただきたいのですが、特に近年卒業生のクラス会などが頻りに開催されたり、大学との連携が増えてきたりと、活動の盛り上がりを感じられます。(クラス会の開催には湖風会からの補助がありますので活用してくださいね。)

一方で、時を経て価値観が変化中、時代に即した同窓会運営が出来ているかというところ、まだまだ改良が必要であり、現在試行錯誤を重ねているところです。

もし当会の活動に興味をお持ちでしたら、お気軽に事務局までご連絡ください。一緒に県大を、湖風会を、盛り上げていきましょう！

なお、6 月には湖風会 20 周年記念事業を開催します (10 頁の記事参照)。是非、お問い合わせの上、ご参加ください。今後とも湖風会をどうぞよろしくお願いいたします。

CONTENTS

| | |
|----------------------|-----|
| 第5代会長就任のご挨拶 | 1 |
| 湖風会会長退任あいさつ | 2 |
| 30周年を越えて、次の歩みへ | 2 |
| 通常総会開催結果 | 3 |
| 同窓会取組紹介 | 4-5 |
| 湖風会20周年 | 6-7 |
| 滋賀県立大学 開学30周年 | 8-9 |
| 湖風会20周年記念 式典のお知らせ | 10 |
| News & Topics | 10 |

湖風会会長退任あいさつ

令和7年6月の滋賀県立大学同窓会「湖風会」通常総会で会長職を小林さんに受け継いでいただきました。顧みますれば、昭和49年に短大看護部同窓会「湖畔の会」設立以来50年余りを同窓会役員として過ごしてまいりました。平成18年の同窓会合併までの紆余曲折にもかかわらず、大変だったけれど、今となっては懐かしい思い出です。私は、琵琶湖を挟んだ高島市安曇川町から県立大学に出向いておりましたので、会長を長くお引き受けするのは難しく、2年で役割を担えるようにと期限を意識しながら取り組ませていただきました。

まず取りかかったことは、同窓会の将来を見据えた会則の改定です。長年にわたり維持されてきた会則の中には、時代の運営実態にそぐわない規定の存在も少なからず確認しておりましたので、同窓会の理念を損なうことなく現実に運用可能で分かりやすい会則へと作り直すことを目標に、役員の皆様とともに一条一句を丁寧に吟味し、検討を重ねてまいりました。多くの時間と労力を要する作業ではありましたが、将来にわたり同窓会を支える基盤を整えることができたものと考えております。また、工学部の皆様にお誘いいただき、卒業生の先輩方と在校生をつなぐ企業訪問に、同窓会会長として参加させていただく機会を得ました。卒業生がそれぞれの企業で第一線に立ち、誇りをもって活躍されている姿を目の当たりにし、同窓会の存在意義と、母校の教育の力を改めて実感するとともに、大きな感動を覚えました。さらに、令和7年3月の学位記授与式終了後に、卒業生に対して同窓会「湖風会」の入会式ができたことは、この上ない喜びでございました。

これらの歩みは、役員の皆様をはじめ、事務局の皆様、関係者の方々、そして会員の皆様に本当に多くのお支えをいただき、職を全うすることができました。ここに深く感謝申し上げます。今後は新体制のもと、同窓会のさらなるご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、会長退任のご挨拶といたします。短期間ではありましたが、誠にありがとうございました。



昭和48年
短大看護部看護学科卒
中川 富美江



30周年を越えて、次の歩みへ

滋賀県立大学は昨年度、開学30周年を迎えました。前身である短大時代から数えると、75周年という節目の年にもあたります。6月7日（土）には、記念事業として記念講演や記念式典などを開催しました。当日は、それらにあわせて学園祭「湖風夏祭」や体育会による京都府立大学との京滋戦を実施するとともに、同窓会の皆様にもご協力いただき、4学部それぞれでホームカミングデーを開催しました。夏祭のフィナーレを飾った打ち上げ花火は例年にない大規模なものとなり、来賓や市民の皆様、そして多くの卒業生をキャンパスに迎え、盛況のうちに幕を閉じることができました。昨年度は、そのほかにも、さまざまな記念行事が実施されました。本学に足をお運びいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

このように節目の年を迎えた一方で、本学は一昨年度より第4期中期計画期間に入っています。計画の柱の一つが、令和10年に開校を予定している滋賀県立高等専門学校の設置です。今後は、一つの法人のもとで、大学と高専を一体的に運営していくこととなります。高専の施設については実施設計がすでに完了しており、今年度には着工する予定です。あわせて教員予定者の採用も進んでおり、開校に向けた準備は、いよいよ佳境を迎えつつあります。

もう一つの柱が、大学の学部・学科の再編です。令和12年には、新たな体制でのスタートを目指しており、一昨年度から進めてきた検討により、再編の方向性はすでに固まりつつあります。この再編は、少子化が進行する中で本学が生き残っていくための戦略であると同時に、30年前に「他に類のない新しい大学」を目指して誕生した本学の原点に、いま一度立ち返るための刷新でもあります。

30周年という節目を経たいま、本学はすでに次の30年、さらにはその先を見据え、「未完」であることを恐れず、変わり続けようとしています。今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



公立大学法人
滋賀県立大学理事長
兼学長
井手 慎司



30年時を経たキャンパス



開学30周年記念式典



令和10年4月開校予定の
滋賀県立高等専門学校完成予想

令和7年度（2025年度）「湖風会」通常総会開催結果

日 時：令和7年6月7日（土）
 場 所：湖風会館A-102教室
 出席者：出席87名、委任855名
 来 賓：滋賀県立大学理事・副学長 森下 あおい 様
 同 学生・就職支援課 課長 堀口 貴代 様
 司 会：伊垣 剛 氏
 議 長：田中 靖志 氏

【議案審議】
 次の議案については賛成多数にて承認されました。
 第1号「令和5・6年度 活動報告について」
 第2号「令和5・6年度 収支決算について」
 第3号「湖風会会則の改正について」
 第4号「令和7年度の活動計画について」
 第5号「令和7年度の収支予算について」
 第6号「任期満了に伴う役員改選について」

ポイント：

1. 会則の改正において、設立当初は必要とした条文を、19年の活動の中で現状とそぐわないものを整理した。例えば、各学部同窓会（単位同窓会）にかかる内容を削除。
2. 役員改選において、湖風会初の県大卒の会長が誕生!!



I 一般会計 会計報告

(単位:円)

| 令和5・6年度 収支決算 | | |
|--------------|------------|------------|
| 収入の部 | 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
| 収入科目 | | |
| 会費収入 | 6,339,890 | 6,020,000 |
| 雑収入 | 105,941 | 45,249 |
| 収入の部小計 | 6,445,831 | 6,065,249 |
| 前年度繰越金 | 12,706,181 | 10,788,948 |
| 収入の部合計 | 19,152,012 | 16,854,197 |
| 支出の部 | 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
| 支出科目 | | |
| 一般経費 | 1,458,633 | 1,387,518 |
| 事業費 | — | 228,029 |
| 設備費 | 277,310 | 277,475 |
| 事務管理費 | 1,940,790 | 2,281,061 |
| 委員会活動費 | 3,226,461 | 49,427 |
| 支部活動費 | 680,780 | 806,940 |
| 活動助成金 | 130,000 | 300,000 |
| 会館維持管理費 | 368,370 | 401,450 |
| その他 | 280,720 | 140,772 |
| 支出の部小計 | 8,363,064 | 5,872,672 |
| 次年度繰越金 | 10,788,948 | 10,981,525 |
| 支出の部合計 | 19,152,012 | 16,854,197 |

(単位:円)

| 令和7年度 収支予算 | |
|------------|------------|
| 収入の部 | 令和7年度予算額 |
| 収入科目 | |
| 会費収入 | 6,200,000 |
| 雑収入 | 50,000 |
| 収入の部小計 | 6,250,000 |
| 前年度繰越金 | 10,981,525 |
| 収入の部合計 | 17,231,525 |
| 支出の部 | 令和7年度予算額 |
| 支出科目 | |
| 一般経費 | 1,720,000 |
| 事業費 | 250,000 |
| 設備費 | 414,000 |
| 事務管理費 | 2,190,000 |
| 委員会活動費 | 3,784,000 |
| 支部活動費 | 689,000 |
| 活動助成金 | 300,000 |
| 会館維持管理費 | 450,000 |
| その他 | 200,000 |
| 支出の部小計 | 9,997,000 |
| 次年度繰越金 | 7,234,525 |
| 支出の部合計 | 17,231,525 |

II 「湖風会」

〔旧単位同窓会寄附金〕特別会計
 (令和5・6年度) (単位:円)

| 科目 | 収入 | 支出 |
|--------|------------|----|
| 前年度繰越金 | 17,920,231 | 0 |

残高17,920,231は、全て定期預金。



令和7年度 役員改選 就任者

| 所属学部支部 | 役員名(卒業年) ◎会長 ○副会長・学部支部長 □会計 △地域支部長 ()総務、名簿管理、広報、学生支援委員長 |
|--------|--|
| 環境科学部 | ◎小林匡哉(H17) ○(総)伊垣剛(H6) △日置靖男(S42) △寺脇文字(S45) △寺田久和(S56) 田中靖志(S49) 松井傳夫(S55) 森恵生(H13) 岸本希実洋(H21)~R7.10 井上惇(H18)R7.10~ 柳沼勇多(H23) |
| 工学部 | ○奥満男(S44) (広)中村正豊(S51) (学)谷村泰宏(H26) |
| 人間文化学部 | ○(名)阿閉順子(H8) □早川幸代(H1) 西田智美(H13) 戸田雄一(H14) 蔭山慧(H24) |
| 人間看護学部 | ○柴田恵子(S50) 中川富美江(S48) 山本なお栄(S48) 田中郁子(S50) 五坪千恵子(S53) 古川光子(S54) 渡邊友美子(H28) |
| 監事 | 安田佐登志(S44) 大菅尚子(S56) |

(事務局員 中村あや子 森智子)

学部支部取組紹介

環境科学部支部（環友会）

【大バーベキュー大会&環友会ロゴマーク募集開始】

環友会は30周年記念として大学と連携し、ほ場広場で大BBQ大会を開催しました。参加者251名（うち卒業生161名、教員23名、学生67名）がBBQコンロを囲み一斉に大交流。井手学長や卒業生よる彦根ビールや野菜の寄付により格安にて実施、途中で琵琶湖の魚も焼きました。残金は30周年として環境科学部が出版する製本費用に寄付をしました。

さらに、環友会設立10周年記念事業として、懸賞金付きで環友会ロゴマークの募集を開始。発表は次回総会にて…



【ロゴマーク募集チラシ】

【充実したワークライフのための就活セミナー】

環友会では、社会で中堅クラスとして働くOB・OGが講師となり、就活、仕事、私生活におけるアドバイスを詰め込んだセミナー動画を作成・公開しています。第5回では会社代表となったOBから、第6回では地域に根をおろしたOGによる対談形式で作成しています。

【第5回 セミナー動画】



【第6回 セミナー撮影風景】



【第9回環友会総会】

令和6年6月15日総会にて、新たな会長へバトンタッチ。

田中靖志 氏 (S49農学卒)

⇒伊垣 剛 氏 (H6農学卒)

H6年 農業部卒 伊垣 剛



活動内容や動画視聴は、こちらのQRコードより



工学部支部（工学部学友会）

開学30周年ホームカミングイベント

【特別記念講演】

菊池憲次先生と安田寿彦先生に地域とともに歩む「滋賀県立短期大学から滋賀県立大学へ」

短大と県立大への移行を体験された両先生にご講演頂きました。



菊池憲次先生



安田寿彦先生



【懇親会】

現役の先生方をはじめ退官された先生方もお越しになり多くの卒業生と現役の学生さんが先生を囲み懐かしみ、未来の話を弾ませ、あつという間の一時間でした。

最後に「弥栄！」を三唱しました
「弥栄」は「ますます栄えること」「発展を願うこと」意味する言葉です。

工学部学友会の主な活動

- 理事会の開催 偶数月に理事会を実施
- 会員と県立大工学部との連携推進 会社訪問を実施
- 会員相互の交流・親睦の推進

S51年 工業部卒 中村 正豊



人間文化学部支部

**【学生たちへ朝食を届ける活動をスタート！
(第1回:令和6年11月27日、第2回:令和7年11月27日)】**

私たちは「学生たちにもっとサポートしたい」という思いから、何かできないかを模索してきた中で、大学の朝食支援の取り組みを知り、朝食を通して「卒業生」と「現役学生」をむすぶ（つながる）きっかけをつくりたいと願い動き始めました。当日は、朝6時半から有志卒業生が集まり、おにぎりorごはん、具だくさんおみそ汁を無料で提供。お米や野菜はほとんどが卒業生からの寄付です。最終的に、2回とも150人以上の学生が来てくださり、実家のような朝ごはんを喜んでいただけました。

今年の第2回では、生活栄養科学科の「食育推進隊」とも連携して行いました。まだまだ手探り状態ですが、可愛い後輩たちのために、今後も継続して実施していきたいと考えています。

また、この取り組みを通して、学位記授与式では、おにぎりを直接手渡ししてお祝いしようという活動も始まりました。

卒業生の皆さんの中からも、これらの活動を一緒にしてくださる方いらっしゃいませんか？寄付や支援でのご協力もお願いしたいと思います。ぜひ、湖風会事務局までご連絡下さい!!



湖大 湖風会
滋賀県立大、卒業生から学生へおむすびとみそ汁の朝食提供 同窓会が企画

ネットニュースに
載せていただきました♪



**【開学30周年記念祭で、現役教授のトークショー
開催！（令和7年6月7日）】**

卒業生に県立大学の今を知っていただけるよう、福渡学部長始め、5名の先生方に、中庭の木陰のもと、ざっくばらんにお話しいただきました。

他にも、活躍する卒業生の今を展示したり、店舗を持つ卒業生には実際に来店していただく「人文マルシェ」を開催するなど、盛りだくさんでした。

今の大学や、卒業生の活躍を知ることが出来る素敵な会が出来ました。

令和8年の湖風会設立20周年記念祭でも、このようなイベントを予定していますので、卒業生の皆様のご来場を、お待ちしております。



H8年 家政部卒 阿閉 順子

人間看護学部支部（湖畔の会）

【開学30周年記念祭ホームカミングイベント】

人間看護学部は、令和7年6月7日滋賀県立大学開学30周年記念祭において、ホームカミングイベントを行いました。

「人間看護学部の過去、現在、未来を語り繋いでいきます。みなさんも楽しく語り合いましょう」との呼びかけをし、彦根の美味しい和菓子、ケーキ、コーヒー、紅茶を用意しました。

また、自分好みのアロマによる癒しのハンドマッサージの体験を、講師としてオレンジピール代表の西島かおる氏をお招きし実施しました。

お子様連れでも参加いただきやすいように、遊び場やお菓子も用意し、卒業生、在校生やそのご家族、教員のみなさまなど169名の方にご来場いただき超大盛況でした。皆様に、楽しんでいただけたと喜んでおります。

湖畔の会役員も、会場やお菓子の準備、アロマハンドマッサージなど貴重な体験をさせていただきました。 S50年 看護部卒 柴田 恵子



2026年6月13日(土)の記念式典では、各支部プログラムも開催します!今回と同じく、楽しいイベントを企画中です。皆さまと一緒に、心あたたまる時間を過ごせたらうれしいです。ぜひお気軽にお越しください!

湖風会20周年

短大75年、県大30年の

歩みとともに

湖風会は令和8年度に20周年を迎えます。本会の歴史は、滋賀県立短期大学の前身である滋賀県立短期大学（1950〜2005）とともに歩んできた卒業生のつながりに支えられてきました。短大75周年、そして県大30周年を迎えた今、学びの場と人のつながりは確かに受け継がれ、広がっています。節目の年を機に、それぞれの歩みを振り返りながら、未来へと続く同窓のつながりをあらためて見つめます。

1950年(昭和25年)

滋賀県立短期大学開学（工業科、学芸科） 滋賀県立農業短期大学開学（農業科）

県立彦根工業専門学校と県立女子専門学校を母体として、滋賀県立短期大学を設置。戦後の農業復興期で、農業技術者の育成という社会的ニーズを背景に滋賀県立農業短期大学を設置。



開学当時の正門 学芸科校舎
(彦根市池洲町)



農業科
(草津市西渋川町)

1956年(昭和31年)

滋賀県立短期大学組織改編（工業部、農業部、家政部）

両短期大学が統合され、化学色染科、機械紡織科、建築科、家政科、農業科の5学科をもつ短大として再出発。



工業部 (彦根市芹川町)

1962年(昭和37年)

工業部、家政部 彦根市八坂町へ移転開始

1969年に移転が完了し、ちょうど犬上川を挟んで、現在の県立大学の対岸に設置されたキャンパスは「彦根学舎」とよばれた



彦根学舎 (彦根市八坂町)



1951年(昭和26年)に
昭和天皇も来校されました

1950年
(昭和25年)

1956年
(昭和31年)

1971年(昭和46年) 看護学科の設置

全国的な看護師不足を背景に、一般教育を基盤とした広い視野と深い専門知識・技術の習得を目指して設置されました。これにより短大は工業、家政、農業、看護の4部構成となりました。



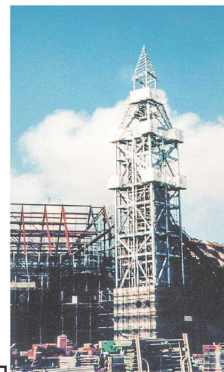
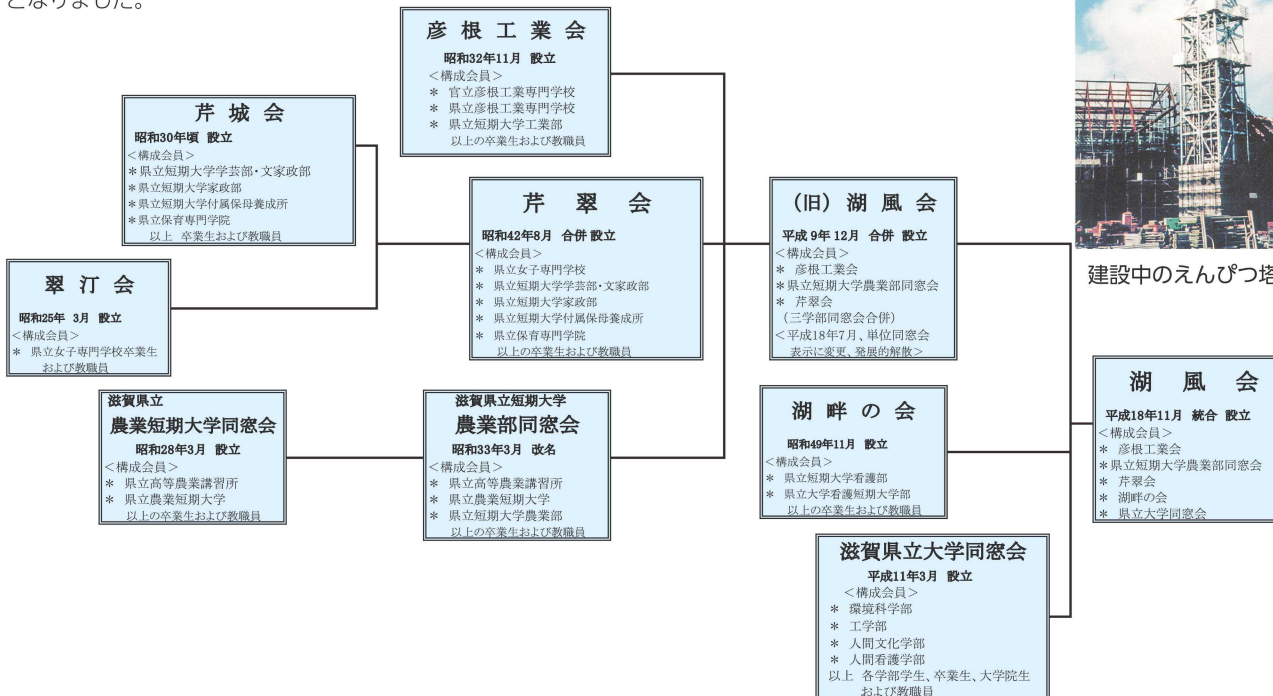
看護学科 (彦根市八坂町)

滋賀県立短期大学の 学科構成の変遷とその区切り

社会や産業構造の変化に応じて学科構成は変遷し、工業部では繊維関連学科が姿を消し、家政部では食物学科や幼児教育学科の新設、家政・被服の専攻分化など、時代に即した専門教育が展開されました。滋賀県立短期大学は、10学科2専攻、学生定員900名以上を擁する全国有数の公立短期大学へと発展し、1996年3月までに1万6千名を超える卒業生を社会へ送り出しました。その教育の理念と歩みは、滋賀県立大学へと受け継がれ、次の時代へとつながっています。

湖風会設立まで ～模索の十年が紡いだ、新たな湖風会の礎～

県立短期大学から県立大学への移行に際して、「同じ組織として継続すべき」と理念の継承を重んじる声と「全くの別物として扱うべき」として新たな歴史を築くべきだとする声が交錯し同窓会としての歩みは一時的な停滞を余儀なくされました。10年に及ぶ空白の歳月は、関係者にとって決して容易な時間ではありませんでしたが、その葛藤と模索こそが、現在の組織の確かな礎を築く契機となりました。



建設中のえんぴつ塔



彦根学舎と建設中の滋賀県立大学

2008年(平成20年)

**電子システム工学科設置
環境科学部、人間文化学部
学科再編**

工学部に電子システム学科を設置。同時に環境科学部、人間文化学部の学科が再編され、4学部12学科となる。



電子システム工学科

2012年(平成24年)

**国際コミュニケーション学科設置
湖風会館完成**



1999年(平成11年)

人間看護学部設置

看護短期大学部を改組転換し人間看護学部を設置。翌年、人間看護学部の校舎が完成。

1995年
(平成7年)

1995年(平成7年)

滋賀県立大学開学

滋賀県立大学は、「私は、どこにもなかった大学です。」をキャッチコピーに開学しました。環境科学部と人間文化学部は全国初の学部名称であり、工学部、人間看護学部(開学時は短期大学部)とあわせ、特色ある学部構成を持つ総合大学として歩みを始めました。



2006年
(平成18年)

**滋賀県立大学30周年
滋賀県立短期大学75周年**

滋賀県立大学は2025年3月までに14,000名以上の卒業生を世に送り出しました。

**滋賀県立同窓会
「湖風会」設立20周年**



2021年(令和3年)
コロナ渦の大学・学生を支援するため、300万円の寄付を実施



2023年(令和5年)～
湖風祭開催日に併せて、ホームカミングデーを実施

2006年(平成18年)

**公立大学法人滋賀県立大学設立
滋賀県立同窓会「湖風会」設立**



2025年(令和7年)～
学位記授与式に併せて、「湖風会入会式」と「おむすび配布企画」を実施。



平成18年11月11日
「湖風会」
設立総会開催



湖風会会員の住所分布状況 (令和7年8月現在)

| 現住所 | 学部支部 | 環境科学部 | 工学部 | 人間文化学部 | 人間看護学部 | 合計 |
|---------|------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 滋賀 | | 3,480 | 2,489 | 4,747 | 1,208 | 11,924 |
| 北海道 | | 30 | 3 | 14 | 3 | 50 |
| 東北 | | 27 | 7 | 39 | 5 | 78 |
| 関東 | | 244 | 157 | 436 | 59 | 896 |
| 信越北陸 | | 297 | 154 | 555 | 93 | 1,099 |
| 東海 | | 1,026 | 794 | 1,371 | 273 | 3,464 |
| 近畿(除滋賀) | | 2,524 | 1,724 | 2,170 | 513 | 6,931 |
| 中国 | | 173 | 58 | 200 | 53 | 484 |
| 四国 | | 97 | 18 | 130 | 17 | 262 |
| 九州沖縄 | | 169 | 36 | 118 | 20 | 343 |
| 海外 | | 20 | 14 | 31 | 2 | 67 |
| 小計 | | 8,087 | 5,454 | 9,811 | 2,246 | 25,598 |
| 住所不明者 | | 1,778 | 1,227 | 1,572 | 536 | 5,113 |
| 計 | | 9,865 | 6,681 | 11,383 | 2,782 | 30,711 |
| 物故者 | | 721 | 650 | 487 | 17 | 1,875 |



滋賀県立大学 開学30周年

滋賀県立大学は令和7年（2025年）6月に開学30周年を迎えました。
 また、前身となる滋賀県立短期大学（1950～2005年）は開学75周年を迎えました。
 「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。滋賀県立大学は30周年。」
 「歩みは共に。今までも、これからも。」のキャッチフレーズとともに、30周年記念ロゴマークを制定し、年間を通して記念行事や取り組みを実施しました。



30周年記念
HPIはこちら！

◀記念ロゴマーク（卒業生 加藤 一郎さん作）

【作品説明】 えんぴつ塔を象徴に、共通講義棟やセンター広場などキャンパスの風景を取り入れ、30周年を一目で伝えるデザインとしました。文字部分は環濠をイメージしています。

2025/6/7(土) 開学30周年記念祭開催

当日は、開学30周年際し、記念式典、記念講演のほか「湖風夏祭」、「京滋戦」、「ホームカミングイベント」など、在校生・卒業生・地域の皆様が集う催しを開催しました。キャンパスを舞台に、県大・短大の歩みを振り返り、未来へつなげる交流が繰り広げられました。

平田オリザ氏による記念講演

劇作家・演出家で芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザ氏を講師に迎え、「わかりあえないことから—コミュニケーションデザインとはなにか?—」と題して講演が行われました。



開学30周年記念式典を挙行政

滋賀県知事、歴代学長や関係者の出席のもと、開学30周年記念式典を開催。記念ロゴマークや校歌編曲チャイム制作に携わった学生等への感謝状贈呈も行われました。司会はFM滋賀パーソナリティで滋賀県立大学「近江環人」の卒業生井上麻子さんが務めました。



学生が手がけた30周年メインデザイン

人間文化学部生活デザイン学科の町中七葉さんが、開学30周年事業のメインデザインを制作しました。ポスターやチラシに加え、寄附返礼品としてクラブハリエ様とコラボしたバウムクーヘンのパッケージにも使用されていました。



30周年を彩る記念花火

開学30周年を記念し、湖風夏祭のエンディング花火が特別バージョンとして打ち上げられました。打ち上げ総数は県大史上最大の1000発。本学卒業生の花火師による演出で、記念祭のフィナーレを華やかに飾りました。



センター広場から

荒神山頂上から（背景、琵琶湖）

大盛況！ 学長トークショー



2025/6/28(土)

地域とともに、約4万株の芝を植栽 開学以来初のグラウンド大改修

開学30周年事業の一環として、JFAグリーンプロジェクトの協力の下、本学グラウンドの大改修が行われました。約4万株にもおよぶ天然芝のポット苗を、地域のみならずとも植栽する取り組みは、本学として初めての試みです。

「地域とともに育む、未来のキャンパス」をテーマとした本改修は、地域コミュニティの拠点となるキャンパスづくりの一歩となりました。



前日に4万個の穴掘り



学長の挨拶でスタート！



お昼ごはんはみんなでカラー



最後はみんなで「芝」ポーズ！▶

芝生が息づく季節は春。みんなでつくる緑の風景をお楽しみに。

2025/10/23(木)、24(金)

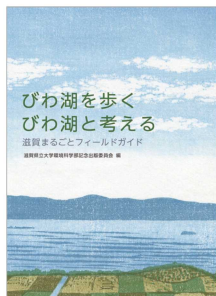
30年ぶりの環濠水抜きも実施 「県大クリーンプロジェクト」 でキャンパス美化

開学30周年を機に、キャンパスと環濠を清掃する「県大クリーンプロジェクト」が行われました。事前のアンケート結果をもとに清掃箇所を定め、学生・教職員あわせて約400名が参加。普段手の届かない場所まで丁寧に清掃し、美しい景観づくりに取り組みました。今回の取り組みでは、大学のシンボルである環濠で30年ぶりとなる水抜きも実施し、外来生物の捕獲や雑草除去などの作業に挑戦しました。清掃活動を通じて交流が生まれるとともに、大学環境の美化や地域への貢献にもつながる取り組みとなりました。



記念出版のご案内

卒業生にも読んでほしい。
環境科学部の30年、近江楽座20周年。



環境科学部30周年記念出版
『びわ湖を歩く
びわ湖を考える』
滋賀まるごとフィールドガイド

琵琶湖を起点に、自然・生活・建築・地域・学生の実践を多角的に描いた一冊。環境科学部の歩みと挑戦を未来へつなぐ記録そして滋賀を見直すガイドブックです。



詳細&購入はこちら

A5判/304頁/
本体3,200円+税(3,520円税込)
ISBN 978-4-88325-865-9
刊行:2026年2月10日

発売のお知らせ

『地域と関わる
学生たちのバトンリレー』
近江楽座の実践から地域と大学の未来へ

地域と学生、大学の20年の実践記録。Well-beingとSustainabilityの視点から、地域共生の可能性を描く。

B5判/88頁/
1,600円+税(1,760円税込) /
送料無料
ISBN 978-4-86299-045-7
刊行:2025年3月28日

オールカラー

発売中



詳細&購入はこちら



湖風会20周年記念式典のお知らせ

2026/6/13(土) 開催 滋賀県立大学 キャンパス内

湖風会は設立20周年を迎えます。この節目に、卒業生の皆さまに「母校のいま」を見ていただきたく記念式典を開催します。短大から県大へと受け継がれてきた学びの歴史と空気は、形を変えながら今の学生にも息づいています。短大ご出身の皆さまもどうぞ気軽にお越しください。久しぶりの方も、初めてキャンパスに来る方も、「いまの母校」との出会いはきっと新鮮です。世代を越えてつながる母校の力を、ぜひこの一日で感じてください。

プログラム

第1部 各学部支部プログラム

(9:30頃～11:30 開始時刻は支部によって異なります)
キャンパスツアー／オープンラボ／支部総会 ほか
研究や学生の活動、支部の取り組みを“見て知る”時間

第2部 記念式典&記念講演

(11:45～13:00)

世界の“現場”を歩いてきた戦場ジャーナリスト渡部陽一さんが登壇。

テーマは「世界からのメッセージ～希望ある明日のために～」。

独特の語り口とリアルな視点で、希望ある明日を描いていきます。



第3部 祝賀会 参加費

40歳未満 3,000円
40歳以上 5,000円

(13:10～14:30)

学生演奏／在学生活動紹介／昔の写真展示

世代を越えて交流する時間。渡部陽一さんにもご参加いただきます。

※祝賀会では、幅広い世代の卒業生にご参加いただけるよう、会費に傾斜をつけております。ご了承ください。

●お申込み方法

・お申込みは右記二次元コードよりお進みください。フォームから簡単に手続きできます。はがきによるお申し込みも可能です。詳しくは添付チラシをご確認ください。



お申込み
フォーム

●その他

・当日は「第28回 湖風夏祭(大学祭)」も同日開催されます。あわせてお楽しみください。
・駐車場は大変混雑する恐れがあります。公共交通機関をご利用ください(臨時バス運行予定)。

詳細は同封の案内チラシをご覧ください。湖風会HPや公式LINEでも最新情報をお知らせします。



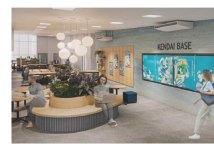
湖風会HP



公式LINE

後輩たちの未来を支える寄付のお願い【湖風会20周年 寄付事業】

滋賀県立大学同窓会 湖風会では、滋賀県立大学開学30周年を機に、コミュニケーションラウンジ整備を支援する寄付事業(湖風会20周年事業)を実施します。未来を担う後輩たちへの応援として、温かいご支援をお願いいたします。※詳しくは同封チラシをご確認ください。



N ews & T opics

県大のできごとを 振り返る

01 “いまの県大”がまるっと分かる 滋賀県立大学公式PR動画を公開!

滋賀県立大学の魅力をまるごと伝えるPR動画が完成しました!学部の学び、学生の声、キャンパスの空気、そして活動の広がりまで——。県大の“いま”を、映像で体感していただけます。本学HPおよびYouTubeよりご視聴いただけます。ぜひお楽しみください!



視聴は
こちらから



02 県大公式ショップ 「KAMO+(カモプラス)」オープン!

大学公式オンラインショップ「KAMO+(カモプラス)」がついにオープン!学生や卒業生がデザインした30周年記念グッズをはじめ、県大ならではのオリジナルグッズをオンラインで手軽に購入できます。「KAMO+」の名前には、本学のシンボル“カモ”と、「あなたにぴったりな“+”が見つかるかも」という想いが込められています。新しい県大の魅力をぜひお楽しみください!



ご購入は
こちらから

湖風会の活動にご協力いただける方を募集しています

湖風会では、会報づくりや行事のお手伝いなど、活動にご協力いただける卒業生の皆さまを募集しています。ご都合のつく範囲でのご参加で大丈夫です。少しでもご興味のある方は、どうぞお気軽に事務局までご連絡ください。

在学時・同窓会の懐かしい写真をぜひご提供ください。

次号の湖風会会報誌に掲載を予定しております。在学時や卒業後の同窓会などのお写真がございましたら、事務局までメールにてお送りください。ぜひご協力をお願いいたします。

大学とも意見交換
ができます!



滋賀県立大学同窓会「湖風会」湖風会報
発行：滋賀県立大学同窓会「湖風会」

〒522-8533
滋賀県彦根市八坂町2500 湖風会 事務局
Tel. Fax 0749-28-4400
E-mailアドレス s.kendai4400@kofuukai.jp
発行責任者 小林 匡哉